

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

9/9

救急車？病院？
迷ったら#7119

救急の日街頭啓発

救急業務や救急医療に対する正しい理解と認識を深めるため、JR二日市駅で街頭啓発活動を行いました。市長と筑紫医師会の医師や看護師、筑紫野太宰府消防組合の職員など約20人が参加し、応急手当の方法や相談窓口が書かれた応急手当ガイドを手渡して救急車の適正利用を呼びかけました。



一人でも多くの命を救うことができるように呼びかけました

9/5

光り輝く！職人の技術



ビルクリーニングで金賞を獲得

市内在住の岩丸 幸介さんがアビリンピック福岡2025で金賞を獲得し、全国大会へ出場を決めました。アビリンピックとは、障がいのある人が職場などで培った技能を競う大会です。岩丸さんはビルクリーニングの種目で出場し、27年間培った技術を披露しました。岩丸さんはこれまでを振り返り、「人の出会いに恵まれ、続けてこられました」と話をしてくれました。



笑顔で大会について報告する岩丸さん(左)と平井市長(右)

9/16

100歳超えても
元気一杯！
敬老の日

9月15日は敬老の日です。市内各地で敬老会が行われ、今年度は39人が100歳を迎えます(7月末日時点)。また、市内の最高齢は107歳となりました。

平井市長は9月16日(火)、100歳を迎える池末 絹子さん、中田 衣子さん、白石 正信さんを訪問しお祝いしました。お祝いの様子や長寿の秘訣は市公式YouTubeチャンネルでも紹介しています。



100歳を迎えた池末 絹子さん(右)

9/8

音楽に合わせて躍動し
全国2位

国民スポーツ大会で準優勝を報告

崎山 夏葵さん(春日高等学校)が、8月に開催された「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 エアロビック競技会」のエアロダンス種目(ティーンズ)に県代表として出場し、準優勝しました。「好奇心旺盛で、挑戦することが好き」という崎山さんは、「エアロダンスの他に、異文化共生を促進する活動などにも挑戦しており、その中で得た経験が精神的な支えになり、今回の結果につながりました」と語ってくれました。



今後も新たなことに挑戦し続けたいと意欲を語りました

■見出しの二次元コードを読み取ると
イベントの様子を動画でも見ることができます。

9/28

笑顔と汗が輝く スポーツの秋

スポレクフェスタ2025



スポレクフェスタ2025を開催し、多くの参加者が楽しみながらさまざまなスポーツやレクリエーションを体験しました。農業者トレーニングセンターで行われたスポーツ体験コーナーでは、アビスパ福岡による「健康づくり地域交流フェスタ」が行われ、親子で参加した出口 直怜さんは「お父さんのカッコいい姿が見られてうれしい、楽しい」と笑顔で話してくれました。



ペアで力と息を合わせてドリブルリレー

9/24

赤ちゃん 触れ合って学ぶ

市内初の子育てサロンとの交流授業



筑山中学校の3年生が、家庭科の授業の一環で赤ちゃんとの触れ合い授業(子育てサロン)を行いました。生徒たちは、乳幼児と交流しながら出生前の胎動の音を聞いたり、出生直後の写真を見たりしながら、乳幼児との関わり方などを学びました。初めて赤ちゃんを抱っこした戸川 晴貴さんは「とても柔らかくて可愛かったです」と話してくれました。



生後2カ月～2歳の乳幼児と交流しました

9/28

読書と芸術に 触れて楽しむ秋

音楽と楽しむおはなし会



市民図書館と筑紫野市吹奏楽団の共同で、音楽と楽しむおはなし会を初開催しました。市民図書館では、つくしんぼおはなし会による「ぞうくんのあめふりさんぽ」や「お月さまってどんなあじ?」などの絵本の読み聞かせが行われ、その後、生涯学習センターで「池の雨」や「手のひらを太陽に」などのミニコンサートを楽しみました。参加者たちは「おもしろかった」「楽器の大きな音にはびっくりした」と大満足の様子でした。



絵本と音楽で心震える時間を過ごしました

9/24

交通事故の無い 安全な街に

秋の交通安全県民運動街頭啓発



JR二日市駅と西鉄朝倉街道駅で街頭啓発を行いました。歩行者の安全確保や、夕暮れから夜間の交通事故防止、自転車などのヘルメット着用と交通ルール順守の徹底、飲酒運転の撲滅を呼びかけました。市内の交通事故発生件数は、子ども関連の事故と歩行者の事故がともに増加傾向です。一人ひとりが意識して、交通事故の無い安全安心な街をめざしましょう。



チラシと啓発グッズを手渡して呼びかけました